

令和2年度の森林環境譲与税の用途について

1 森林環境譲与税の活用の効果

(1) 森林所有者への意向調査の実施

・町内の私有林人工林の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査した。結果、町による管理を希望する所有者と管理契約を締結し、施業を町の取り組みで育成した地域の担い手に委託した。

(2) 作業道開設による森林整備への支援

・作業道が整備されておらず、他の補助事業では対象とならない森林において、木材の搬出を目的とする作業道の整備を支援した。

2 森林環境譲与税の用途の内容

(1) 歳入

単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	14,430
計	14,430

(2) 歳出（使途内訳）

単位：千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		R2森林環境譲与税	他の財源		
持続可能な林業推進事業	2,216	1,200	1,016	優先して森林整備を進める予定のエリアで、所有者調査及び森林整備の意向調査を実施	意向調査対象面積：318ha（591筆、151人）
間伐・作業路開設事業	18,200	10,250	7,950	森林作業道を整備する場合に補助事業として定額支援（2,000円/m上限） 保育間伐を実施する場合に補助事業として定額支援（110,000円/ha 他事業との併用不可）	森林作業道の開設延長：6,650m 保育間伐の実施：0.8ha
山地・作業路整備事業	2,280	2,280	0	開設済みの林道及び作業道を常時使用できるように維持修繕を実施	林道・作業道の改良・修繕等：55km
持続可能な林業推進事業	1,200	700	500	木育と木材利用推進のため、誕生祝い品として町産材で制作した積み木を木製品の良さを伝える本と供に贈呈	個数：40個
計	23,896	14,430	9,466		